

## 「海を伝える、海を知る！サンゴの海のワークショップ」報告

2011年12月4日（日）、大阪自然環境保全協会さんからの依頼を受けて、NPO 法人ミュージアム研究会の茶箱のミニ展示と「海を伝える、海を知る！サンゴの海のワークショップ」を行いました。大阪自然環境保全協会が提供する講座のうち自然観察インストラクター養成講座に参加している方々を対象としたワークショップで、参加される方々は既に12回のような様々なトピックの講座を受講されているということでした。自然を伝えていくコミュニケーターの方々との出会いはNPO法人ミュージアム研究会にとっても、楽しみでしたので、今回はたった1日でしたができるだけたくさんのお茶箱をもっていくことができるように大阪自然環境保全協会さんとも綿密に打ち合わせをさせていただきました。また、今回は前半はクジラ、後半を大阪の自然観察会ではあまり扱わない「サンゴ」をテーマにしたいということで、本NPOでサンゴ展示監修でお世話になった阿嘉島臨海研究所さんに協力をいただけることになりました。当日は、同研究所より岩尾研二さんにもゲスト講師としてサンゴのお話をご担当いただきました。前半のクジラ展示の話の最後に、参加者全員で毛糸のウニをつくり、後半のサンゴのお話をつなぎ役になってもらいました。毛糸ウニ制作の後、クジラたちが故郷にしているさんご礁のきれいな水をつくる、サンゴや星砂やウニたちが死んだものがさんご礁の砂になっている後半のお話へと続きました。阿嘉島臨海研究所の岩尾研究員は、研究所で研究しているウニやサンゴのいろいろな写真をスライドで見せてくれました。水族館などでは大きな生物は印象に残りますが、小さな生き物についてはなかなかじっくり学ぶ機会がないこともまた事実です。今回のお話で小さな生物の多様性や大切な役割なども改めて勉強させていただきました。小さな生物たちのおかげでクジラのような大きな生き物も喜んで帰ってくるきれいな海が維持できているのですね。



写真 ミュージアム研クジラ展のお話

写真 毛糸のウニづくり

写真（阿嘉島臨海研究所 岩尾氏）ウニ、星砂、サンゴのお話



写真 実物を使ったさんご礁アドベントカレンダーづくり



写真 実物を使ったさんご礁アドベントカレンダーづくり

お話が終わった後は、ワークショップでものづくりをすることになっていたのですが、この日のために、インストラクターのみなさんの今後の活動のヒントになるような新規のプログラムを考えてみました。せっかくのワークショップの機会に、阿嘉島臨海研究所さんに御助力いただけるということで、12月ということもあり、さんご礁に住むつながりある生物たちをクリスマスツリーの台紙に飾っていく日めくりカレンダー（アドベントカレンダーと言います）を企画しました。クリスマスまでの1カ月を1日1つのカレンダーになっている窓をめくっていきながら、さんご礁の生物のことも学びながら、クリスマスまでを心待ちにできる一石二鳥なオリジナルカレンダーです。お好みでサンタのキャンデーなども飾りました。もちろん、前半と後半のつなぎ役として1人1個制作した毛糸のウニも、クリスマスツリーの星としてきらきら輝いています。子どもから大人まで自分の思い思いの小さな生物たちを選んで、窓の中に飾っていきます。阿嘉島臨海研究所さんのご好意でお話に出てきたサンゴ、ウニ、星砂、さんご礁の魚のカラー写真と解説シートをカレンダー用に用意していただきました。星砂は実物を丸いコルクにくっつけました。お家にある材料で簡単につくれるアドベントカレンダーはとってもおすすめです。今年度はアドベントカレンダーの型紙をウェブ上にアップしたいと思っていますので、是非挑戦してみてください。

ワークショップにはお子さんたちも参加されると伺っていたので、サンゴ蚊帳制作時に海蛇やマンタの制作物でもお世話にいらしたカフェハハハの原田さんにワークショップの主旨をお伝えし、特注の「星砂ケーキ」も最後に登場することとなりました。岩尾さんのお話の中にあつたとおりに、いろいろな形の星砂がクッキーとしてちりばめられたチョコレートケーキに参加者の方々も感動の様子。子どもも大

人も一緒に、ちょっと早いクリスマスに参加者のみなさんとお祝いできました。最後に本日のワークショップの感想をお一人一人からいただきました。インストラクターのみなさんにも短時間でいろんなことができたことに感動していただき、今後の実践の参考になったというご意見を多くいただきました。また、主催者の大阪自然環境保全協会さんからも、数ある講座の中でも達成感のあるワークショップになって感謝したいとお言葉をいただきました。機会があれば、いろいろな団体さんとも協力して、情報交換や交流を続けていきたいです。今回は、阿嘉島臨海研究所さんには遠方から協力いただき大変お世話になりました。また、カフェハハハさんにもワークショップに合ったケーキをデザインしていただき、感謝しています。



写真 カフェハハハさんに特注した星砂ケーキ



写真 参加者の方一人一人からの感想とまとめ

(文責 清水麻記)